

Ⅲ 学力検査（A日程及び連携型特別選抜）の教科別状況

国語

1 出題のねらい

「書くこと」、「読むこと」の2領域と〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕について、基礎的・基本的な知識・理解と、国語を適切に表現し正確に理解する力をみることをねらいとした。

- (1) 「書くこと」については、文章の展開に即して内容をとらえたり、文章の内容について自分の考えをもったりしたうえで、目的や必要に応じて適切に書き表す力をみるものとした。
- (2) 「読むこと」については、文脈の中における語句の意味を的確にとらえ、文章の展開に即して内容を正確に理解する力をみるものとした。
- (3) 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕については、漢字の読み書き、書写、表現の技法、文法の基礎的な事項や古文の仮名遣いなどについての力をみるものとした。

2 結果の概要

平均点は20.4点で、昨年度より2.2点下がった。言葉の特徴やきまり、漢字、表現の技法等における基礎的事項の定着や、社会生活において必要な語彙の習熟が十分とは言えない。また、一定の分量の文章を展開に即して正確に読み取り、条件に合わせて適切に書き表すことについて課題がある。

(1) 平均点(50点満点)の推移

年 度	R 2	H31	H30	H29	H28	H27
平均点	20.4	22.6	20.4	22.6	25.1	20.2

(2) 正答率の推移

年 度	R 2	H31	H30	H29	H28	H27
言葉の特徴やきまり・ 漢字・書写・表現の技法	49.9	56.9	53.5	55.9	71.8	54.0
現代文	26.4	34.4	23.8	31.4	30.2	26.7
古 典	44.6	44.2	38.8	40.3	57.0	45.4

3 結果分析に基づく今後の指導のポイント

☞① 低学年での学習内容を定着させること。

言葉の単位（単語に区切ること）や表現技法（比喻）など、1年次に学習する事項の正答率が低い。基本的な文法事項や表現技法に関する知識を身に付けることは、言語感覚を磨くために必要不可欠なものなので、既習事項を繰り返し学習の中に取り入れて確実に定着させたい。

☞② 問いの内容を確実に把握する力を付けさせること。

抜き出して解答する問いにおいて、「短歌の中から」とあるのに短歌以外のところから抜き出した解答や、「考えが述べられている部分を」とあるのに「考え」とは言えない部分を抜き出した解答が非常に多い。問いの内容を正しく読み取る力を付ける必要がある。

☞③ 文章中の言葉の対応関係を的確に読み取り、表現できるようにさせること。

対比に着目して解答する記述問題において、対比するのに適切なものを並べ比べて的確に記述できている解答が少ない。対比の構造になっていなかったり、伝えたいことを十分に書き切れていなかったりする解答も多く、読むこととともに表現することにも課題がある。適切で分かりやすい表現ができるように、推敲等についても一層の指導が求められる。

問 題		正 答	正答率	誤答率	無答率	
一	(一)	1	しんぎ	65.8	33.2	1.0
		2	ほが (らか)	55.6	42.0	2.4
	(二)	1	演劇	53.2	42.2	4.6
		2	粉	29.3	61.7	9.0
	(三)	れっか・れんが		42.0	48.0	10.0
	(四)	エ		31.5	68.5	0
	(五)	1	8	4.4	95.4	0.2
		2	一輪とよぶべく	54.2	43.4	2.4
		3	イ	52.9	46.8	0.3
	(六)	1	ア	69.8	30.2	0
		2	(例) あの建物の後ろや内側はどうなっていると思いますか	55.6	29.3	3.9
部分点 11.2						
3	エ	84.4	15.6	0		
二	(一)	ウ		38.0	62.0	0
	(二)	イ		53.7	46.1	0.2
	(三)	(例) かつては衣服を最後まで大切に使い切ったが、現代のファッションには安く買った服を使い捨てにさせるような異常な面があるということ。		8.8	54.1	5.1
		部分点 32.0				
(四)	ウ		50.5	49.3	0.2	
三	(一)	(例) 「科学的」ではないあり方は思考過程に個人の感情が入り込むが、「科学的」であるためにはあるべき筋道に沿って客観的に考えることが大事である。		2.7	80.5	4.1
		部分点 12.7				
(二)	(例) 部活動で自分が望む結果を出せなかったときに、他の人のミスや相手の強さのせいにせず、スコアをもとに分析し対策を考えることは「科学的な考え方」だ。このように考えることで、次の目標もはっきりとするので科学的な思考は大事だと思う。		4.9	66.1	18.5	
	部分点 10.5					
四	(一)	とわずということなし		60.5	37.1	2.4
	(二)	ア		62.7	36.3	1.0
	(三)	問ふは礼なり		2.0	95.1	2.9
	(四)	イ		53.4	45.6	1.0

※ 正答率等の数値については、学力検査受検者の中から10人に1人の割合で抽出した410人分の答案を対象として算出した。